

安全安心まちづくりニュース 52号

犯罪や交通事故のない、災害に強いまちづくりを共に進めましょう。

発行元 伊丹市自治会連合会（生活安全委員会）

発行日 平成30年12月10日

伊丹市（まちづくり推進課・都市安全企画課・危機管理室）

協力 伊丹警察・伊丹防犯協会

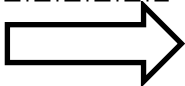
進めよう！！災害に強いまちづくり

今年は全国的に地震や大雨・台風が相次いで発生し、伊丹市でも大きな被害が発生しました。



大規模な災害時には、行政による公的支援が行き届くまでに時間を要し、また行政の対応には限界があるため、住民一人ひとりの「自助」と地域の「共助」による取り組みが不可欠です。

伊丹市自治会連合会では、日ごろの災害への意識高揚のために、アンケート調査を実施しました。

アンケート結果は裏面 

防災意識調査アンケート内容および結果

実施日 平成30年10月8日（月・祝）【体育の日のつどい】
 実施場所 伊丹スポーツセンター
 有効回答数 249

年齢

10代	1%
20代	4%
30代	29%
40代	24%
50代	6%
60代	18%
70代	13%
80代	3%
未回答	2%

性別

男性	21%
女性	51%
未回答	28%

居住地

市内	77%
市外	9%
未回答	14%

①自宅（居住地域）で一番心配な災害は （複数回答可）

	(回答数)
・地震	208
・津波	4
・集中豪雨・洪水	54
・土砂災害	1
・火災	48
・台風	70
・その他	2
・特にない	5

②災害時に対する食料、飲料水、衣類等の備えは

・している	65%
・していない	35%

③地震に対する備えとして、家具類の固定や高い位置に重たいものを置かない等を

・している	56%
・していない	44%

②で備えをしている人の備蓄日数

・無回答	9%
・1日	21%
・2日	26%
・3日	30%
・4日	0%
・5日以上	14%

④災害時に即座に情報を得る手段（複数回答可）

・メール配信	180
・ラジオ	86
・テレビ	93
・インターネット	61
・特にない	5
・その他	0

⑤お住まいの地域周辺での避難所がどこか

・知っている	89%
・知らない	11%

⑥避難が必要になった時、避難所以外に一時的に避難する場所について

・決めている	65%
・決めていない	35%

⑦避難時に支援が必要な方の誘導・支援について

・積極的にする	24%
・呼びかけがあればする	53%
・他の人と一緒にあればする	8%
・自分（家族）の避難で精一杯だからできない	15%
・状況がどうあれしない	0%

⑧伊丹市防災マップ（内水・洪水ハザードマップ）では浸水する範囲、水深等を示していますが、そのハザードマップについて

- 活用している（持っている） 23%
- 見たことがある（自分の地域については把握している） 47%
- 知っているが見たことがない 17%
- 知らない 13%

⑨全国各地で台風や大雨等による災害が発生していますが、台風や大雨が予測される場合

- 市からの避難指示発令前に避難（準備）する 47%
- 市からの避難指示発令後に避難（準備）する 45%
- 市からの避難指示が発令されても特に何もしない（自宅等で待機する） 8%

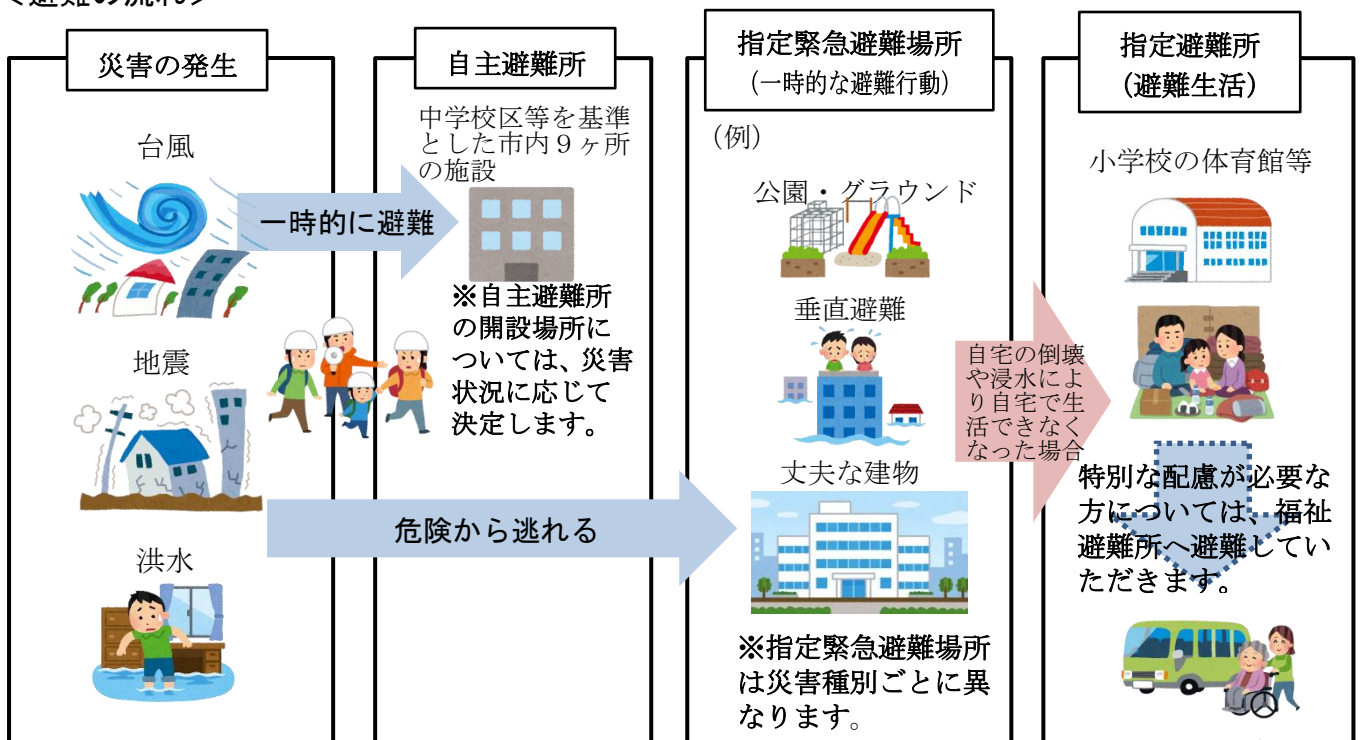
避難所を確認しておきましょう

伊丹市では、災害対策基本法に基づき「指定緊急避難場所」165ヶ所と「指定避難所」138ヶ所を指定しています。また、自主避難所については、中学校区等を基準として市内9ヶ所の施設を指定しています。

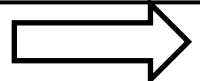
災害は、いつ、どこで起こるかわからないからこそ、普段の心構えが大切です。

自宅、勤務先、実家などにある身近な避難場所や避難所までの安全な経路を確認し、いざというときに備えましょう。

<避難の流れ>



自主避難所・指定緊急避難場所・指定避難所の説明については裏面



自主避難所とは

市民の皆さんの問い合わせ状況を考慮した上で、自主避難所開設基準に基づき一時的に開設するものです。大型で非常に強い台風が近畿地方中部に上陸・接近する恐れがある場合、事前の避難を希望する人を対象に自主避難所を開設します。

また、開設する場所については、災害状況に応じて、協議したうえ決定します。

指定緊急避難場所とは

災害が発生し、又は発生する恐れがある場合に、その危険から逃れるための避難場所として洪水や地震など異常な現象の災害種別ごとに安全性等の一定の基準をみたす施設又は場所です。

指定避難所

災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまでに必要な間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるための施設です。

◎自主避難所・指定緊急避難場所・指定避難所は「伊丹市 防災マップ&市民べんり帳」及び伊丹市のホームページから確認できます。

生活安全委員より

「子ども達の笑顔がみたくて」



天神川幼稚園・天神川小学校・荒牧中学校の3校を対象に私達、天神川地区まちづくり協議会では、下校見守りに加え毎月1回、総勢42名で「あいさつ一声運動」を実施しています。

元気に笑顔で挨拶する子、体全体で挨拶を表現する子、まだ寝ぼけ顔の子など多彩な顔を見せてくれます。

低学年の児童が小さな体に大きなランドセルを背負い登校してくるのを見ていると「大変だなあ」と思いながらも大きな声で「おはよう」と声をかけると、これまた大きな声で「おはようございます！」と元気な声が返ってきます。

この子ども達が今日一日勉強に集中し、又精一杯遊べますようにと思いながら、「おはよう、おはようございます」と挨拶しています。

荻野西自治会 会長 上原 夏雄